

## 令和5年度 学校経営計画書

|      |    |     |            |     |       |
|------|----|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 49 | 学校名 | 静岡県立島田高等学校 | 校長名 | 後藤 昇太 |
|------|----|-----|------------|-----|-------|

### 1 スクール・ミッション

専門的な学びのための高等教育に備える志檜地域の高校として、良き伝統、校風を継承発展させ、主体的な授業、充実した課外活動、学校行事を通して、新たな社会の形成者としての高い知性、豊かな感性、健やかな心身、多様な国際感覚を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

### 2 目指す学校像

#### (1) スクール・ポリシー

| グラデュエーション・ポリシー  | カリキュラム・ポリシー   | アドミッション・ポリシー  |
|---|---|---|
| ○現代社会を主体的に生き抜く逞しさを持った生徒<br>○新たな社会の形成者として、高い知性、豊かな感性、健やかな心身を備え、将来、地域社会に貢献できる生徒<br>○校訓、「希望」「友情」「努力」のもと、こころざしのあり方、人としての生き方、社会貢献への使命感を自らに問いかけながら学業に取り組む生徒 | ○生徒の高いこころざしを育成して希望する進路の実現を図るために、ICTを利活用しながら授業外学習と連動した質の高い授業を創造する<br>○「人として正しく生きる」ために自立した生活態度の育成を図り、多様な価値観に対応した規範意識を涵養する<br>○豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりとソーシャルリテラシーを備え、現代社会で逞しく生き抜く力を養う | ○高いこころざしをもち、自ら学び、向上しようとする生徒<br>○出会いを大切に、互いに信頼関係を築き、人としての生き方を追求する生徒<br>○夢や目標の実現を目指し、自分を磨き、挑戦する生徒 |

#### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 進路実現のための授業改善と基礎基本の定着
- イ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の涵養
- ウ 主体的に生きる力と社会的リテラシーの育成
- エ 学習・教育環境の整備と地域の信頼を担う学校づくり
- オ 広報活動の充実と中高・高大連携の推進

### 3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

|   | 取組目標                                       | 達成方法<br>(取組手段)  | 成果目標   | 担当部署 |
|---|--|---|--|------|
| ア | 生徒の高いこころざしを育成し希望する進路の実現を図るために、ICTを利活用しながら授 | ・基本的な生活習慣と予習、授業、復習のサイクルを確立させる<br><br>・「学びの基礎診断」や「到達度テスト」の結果を踏まえて学習PDC Aサイクルを確立すると共に、スタディサプリの活用により生徒の学力向上を図る | ・予習、授業、復習のサイクルを意識して取り組んだ生徒70%以上<br>・スタディサプリアを学力向上のために有効に使えたと感じる生徒80%以上 | 教務   |

様式第1号

|   |                                |   |   |     |
|---|--------------------------------|---|---|-----|
|   | 業外学習と連動した質の高い授業を創造する。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」と、生徒の自己肯定感の向上を実現するための学習評価につながる授業改善を、教員相互の学び合いによって進める</li> <li>・ICTの活用例や方法を教職員に周知する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への主体的な取り組みを意識する生徒70%以上</li> <li>・職員1人2回以上の授業見学</li> <li>・ICT活用に向けてのマニュアルを作成し研修を年2回以上</li> </ul>                               | 研修  |
|   |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した進路指導を可能にするために体系的かつ機能的進路指導計画を策定する</li> <li>・生徒、保護者、教員が有機的に繋がり、生徒が主体的に進路選択をできるように、時機を得た情報提供をする</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜補講受講率70%以上</li> <li>・4年制大学進学志望者のうち、国公立大合格30%以上</li> <li>・進路関係について主体的に考えることができた生徒90%以上</li> <li>・しまこう学問探究ナビ満足度90%以上</li> </ul> | 進路  |
|   |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒との個別面談を通して個々の適性に応じた指導を行う</li> <li>・放課後補講、土曜補講を計画的に実施する</li> <li>・総合的な学習の時間等を有効利用し、進路意識を高める</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間5回以上の面談実施</li> <li>・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加できた生徒80%以上</li> <li>・総合的な探究学習の進路関連の時間について、自分の進路について考えることができた生徒90%以上</li> </ul>           | 3年部 |
|   |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備を徹底させフォーサイト手帳やスタディサプリの活用を促して学習習慣を定着させる</li> <li>・HR活動・総合的な探究の時間、学年通信・進路通信等を活用して進路情報を適切に提供する</li> <li>・修学旅行および事前・事後研修を通じて幅広い視野を育てる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日2時間以上、休日3時間以上の学習達成生徒60%以上</li> <li>・課題居残り後未提出1名以下</li> <li>・学年通信発行12回以上</li> <li>・修学旅行で視野が広がる生徒90%以上</li> </ul>               | 2年部 |
|   |                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が授業に集中できる学習環境を整備した上で課題等を期限内に提出する指導を徹底する</li> <li>・フォーサイト手帳を活用して学習PDCAサイクルを確立させるとともに、学習習慣を定着させる</li> <li>・総合的な探究の時間や学年便り等を活用して情報提供を行う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週末課題未提出生徒10%以内</li> <li>・1日平均の2時間以上の学習時間達成生徒60%以上</li> <li>・学年便り年10回以上の発行</li> </ul>  | 1年部 |
| イ | 人として正しく生きるために、自律した生活態度の育成を図り、多 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を確立し、自律的な生活態度の育成を図る</li> <li>・学校や社会、交通マナーを守り、挨拶、返事、言葉づかいに気を配るなど規範意識を高める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ検査を各学期1回以上実施</li> <li>・自転車安全指導カード昨年度比半減</li> </ul>   | 生徒  |

様式第1号

|   |  |   |  |     |
|---|--|---|--|-----|
|   | 様な価値観に対応した規範意識を涵養する。                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーサイト手帳の利用によって、学習P D C Aサイクルを確立させる</li> <li>・身だしなみの指導を通して規範意識を醸成する</li> <li>・校外外において気持ちの良い挨拶ができるようにする</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーサイト手帳によるP D C Aサイクルを確立させたと回答する生徒 80%以上</li> <li>・充実した高校生活と実感する生徒 80%以上</li> <li>・頭髪服装検査時、指導対象の生徒 5名以下</li> </ul>    | 3年部 |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・HR活動、生徒会活動、委員会活動、部活動、学校行事、校外活動等への積極的な参加を促す</li> <li>・登校指導、身だしなみ指導、マナー指導を継続的に行い、必要に応じて学年主任指導を行う</li> <li>・交通指導を徹底し、交通に関する規範意識を定着させる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒 95%以上</li> <li>・服装、頭髪で指導される生徒 0</li> <li>・イエローカード 50枚未満</li> </ul>                                | 2年部 |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学校生活を送るために、余裕ある登校を指導する</li> <li>・身だしなみ指導、交通指導を通して規範意志を高める</li> <li>・校外外において気持ちの良い挨拶ができるように率先する</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・8:20 昇降口通過者 99%</li> <li>・頭髪服装検査を学期に1回以上実施</li> </ul>  | 1年部 |
| ウ | 豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりを身につけ、現代社会で逞しく生き抜く力を養う             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動やボランティア活動等に積極的に取り組ませる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1部活1つ以上のボランティア活動実施</li> <li>・学校生活が充実していると答える生徒 85%以上</li> </ul>  | 生徒  |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2週にわたる欠席をした生徒に対する呼び出し面談を行う</li> <li>・ケース会議を開いて組織的対応を図る</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談できる相手がいる生徒 90%以上</li> </ul>  | 保健  |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を通して豊かな教養、感性を養う</li> <li>・舞台芸術への導入として演劇教室を実施する</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の年間図書貸出数 2000冊以上</li> <li>・演劇教室に満足した生徒 90%以上</li> </ul>  | 図書  |
| エ | 適正かつ効率的な予算執行による学習・教育環境の整備や、地域・関係外郭団体との協働により安全で安心な学校づくりを目指す | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南海地震に対する防災意識を高め、自分の身を守るだけでなく、地域で果たすべき役割を自覚させる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災訓練の参加率 60%以上</li> </ul>  | 総務  |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善案に基づき、業務の効率化・平準化・適正化を推進する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化・平準化・適正化が図られた職員 75%以上</li> </ul>   | 管理職 |
|   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備に起因した事故の発生を防止するため、日常的な巡回や職員衛生委員会等から情報収集を行う</li> <li>・経済面での安心を提供するため、家庭の経済的負担を軽減する制度を周知する</li> <li>・静岡県通常予算に加え、関係外郭団体予算を積極的に活用する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、設備に起因した校内事故の発生件数 0</li> <li>・申請書類の期限内提出率 95%以上、差戻し率 5%未満</li> <li>・学校経営予算の執行率 99.5%以上、外郭団体の予算執行残額 25万円未満</li> </ul> | 事務部 |

様式第1号

|   |   |   |  |      |
|---|---|---|--|------|
| オ | 丁寧な生徒指導・進学指導を垂範する進学校として教育活動・教育実践を的確に発信するとともに、連携接続のための情報収集・情報交換を密にする | <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、主管分掌（教務、総務、進路）と連携して本校の教育活動の魅力を中学校や地域へ広く発信する</li> <li>・担当者による複数回訪問を実現し中学校との関係性を築く</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ更新 年間150回以上</li> <li>・中学校訪問2回以上</li> </ul> | 広報担当 |
|   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページや一斉配信システム等を活用し、生徒の状況や活動、感染症や災害対応等をわかりやすく適時に配信することで、保護者や地域との連携を深める。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子を知ることができた保護者70%以上</li> </ul>                | 管理職  |

（記入上の留意点）

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。